

運動遊び

対象：すみれ、ゆり組
作成者：池下桃代、吉井詩織
作成日：2018年9月25日

ねらい：自ら運動遊びをしたい気持ちを持つ。



どんな音が鳴るのかな？
スイッチはどこ？



●振り返り

運動会まで、お部屋や境内、様々な場所でぼくコッシーを踊ってきました。お部屋では、ぼくコッシーをかける際、踊りを踊りたい子は、自分たちでCDプレーヤーをかけて踊る姿が見られ、それまでブロックで遊んでいた子も、ブロック遊びを一旦辞めて、「踊りた〜い！」と意欲的に一緒になって友達と踊る姿も見られました。
(協同性) 池下

「おいっす！」と元気に声を出したり、テレビアニメで見ている、大好きなコッシーになりきったりと、楽しく踊る姿が見られました。お尻や手を振ったりしながら、元気いっぱいの子ども達でした。入場や退場にも挑戦し、学年で運動会への気持ちを高めていきました。(豊かな感性と表現・協同性) 吉井

踊りの曲が決まったきっかけは、アート活動で乗り物の絵本作りがテーマだったからです。保育者が、「乗り物って何があるかな？」と問いかけると、子どもたちから「どんな色がいいかな？」などと、ワクワク考えていくうちに心も体もノリノリになるような歌と踊りになりました。

(豊かな感性と表現)

そして、鼓隊や踊り、かけっこをした日は、「楽しかった!」「最後まで走ったよ!」と、子どもたちの喜ぶ姿がたくさん見られました。「運動会まであと何日かな?」と、保育者や友達と話したりしながら、運動会をととても楽しみにしていました。子どもたちのハツラツとした姿に注目して頂けたらと思います。

(言葉による伝え合い)